

— グラフェンの応用展開 —

日時: 12月24日(木) 10:00頃~11:00頃まで

場所: 先導研筑紫キャンパス A棟2階 211号室(ゼミ室)

*部屋が狭いので参加を希望される方は、必ず事前にメールをお願いします

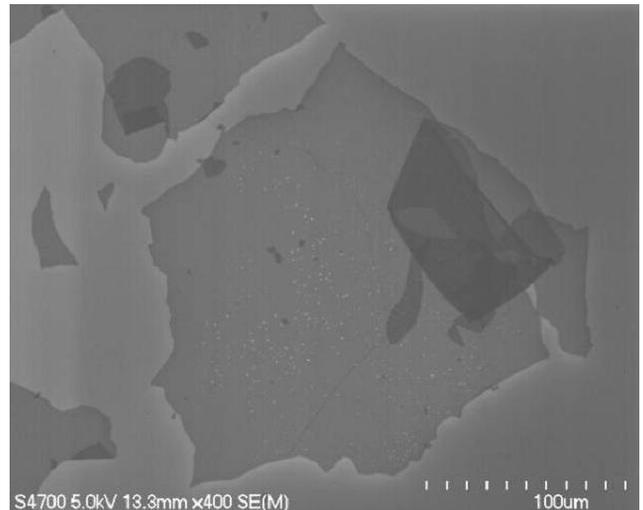
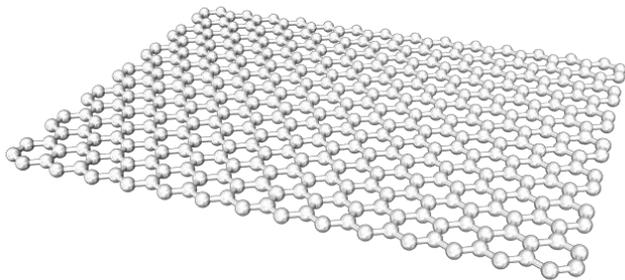
連絡先: 吾郷浩樹 (ago@cm.kyushu-u.ac.jp)

「太陽電池用透明導電膜を目指した大面積グラフェンシートの作製」

藤井 健志 先生 (富士電機ホールディングス)

要旨: 高移動度のグラフェンを太陽電池用の透明導電膜に適用できれば、過剰なキャリアを導入することが不要であるため、赤外領域まで高い透過率を得ることが出来る。このような透明導電膜は太陽光の全ての波長を変換する超高効率太陽電池に必要不可欠であり、変換効率の向上に重要な役割を果たす。

本講演ではグラフェン透明導電膜の実現を目指し、大面積で低コスト化で優位な化学的剥離によって作製した結果について報告する。特に、100 μm とこれまでより遥かに大面積なグラフェンシートが得られておりその特性などについて紹介する。



IMCE

Institute for Materials Chemistry and Engineering
Kyushu University, Japan